

## 心理検査結果報告書

〇〇〇 様

平成 29 年 3 月 31 日

この度は、私どもの研究にご協力くださりまして、誠にありがとうございました。今回得られました結果は、貴重なデータとして今後大いに役立つことと思います。心より感謝申し上げます。

さて、今回受けていただいた検査のうち、結果がお返しできる検査についてご報告させていただきます。何かのご参考にしていただければ幸いです。なお、これらの結果はあくまでも現時点での結果であり、今後同じ検査を受けたとしても、同じ結果が出るとは限らないということをご理解ください。

ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

〇〇〇 神経医療研究センター  
〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇  
〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇





#### 「言語理解」「作動記憶」「知覚統合」「処理速度」について

■■■様は、検査結果全体をみますと、同年代平均以上のとても高い能力をお持ちでした。

言葉を用いて推論や説明をする課題についての能力である「言語理解」についてみますと、言葉の意味を説明する課題と一般常識を答える課題を得意とされていたらしやいました。このことから、語彙が豊富であり、社会生活において必要な判断力をお持ちであると考えられます。一方で、歴史上の人物名などを答える課題は苦手とされていました。

必要な情報を記憶しながら課題を解決する能力である「作動記憶」についてみますと、きわめて高い能力をお持ちでした。聞いたままの順に数字を答える順唱(9桁)、聞いた数字を逆順序に答える逆唱(8桁)で、特にどちらも良くできていました。また、算数の課題も得意とされておりました。これらのことから、耳から得た情報を記憶しながら正確に処理することができると考えられます。ご自身でもおっしゃっていた通り、■■■様のなかでは、かなと数字の組み合わせを聞いて並べ替える課題が比較的苦手なようでした。数字だけでなくかなも一緒に記憶し、それを頭の中で並び替えるというような、複雑な処理は苦手であるかもしれません。

視覚的な情報を用いて推論してまとめる課題についての能力である「知覚統合」についてみますと、こちらの分野もきわめて高い能力をお持ちでした。特に積木を使って見本と同じ模様を作る課題を得意とされていました。このことから、全体を部分にわけてみることができ、また部分を全体にまとめ上げる能力をお持ちであると考えられます。一方で、絵が描かれたカードをストーリーに沿って並べ替える課題を苦手とされており、絵から情報を読み取り、時間的な前後関係を理解することが苦手であると考えられます。

視覚的な情報をすばやく処理する課題についての能力である「処理速度」についてみますと、全体的にとっても高い能力をお持ちでした。このことから、はやさ

---

#### ※もう1種類受けていただいた知能検査■■■■■について

この検査に関しては現在研究中であり、結果について解釈することができないため、皆様に結果をお出ししておりません。申し訳ございませんが、よろしくご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

---

## 記憶検査

### ①検査の概要

この検査では記憶の様々な側面を評価することができます。内容は、大きく4種類に分かれています。言語的な情報を記憶する「言語性記憶」、視覚的な情報を記憶する「視覚性記憶」、これら2つを合計した「一般的記憶」の他、物事を記憶する上で必要不可欠な「注意・集中力」、一度覚えた事柄を思い出す「遅延再生」という能力を測定しています。さらに、それらはいくつもの下位検査から構成されています。

一般的記憶	言語性記憶	文章や単語など、耳で聞いた情報を記憶する能力。
	視覚性記憶	図形や色など、目で見た情報を記憶する能力
注意・集中力		記憶をするときに、記憶をする物事に集中をする能力。
遅延再生		一度覚えた情報を、時間が経っても覚えていられるかという能力。この検査では、30分以上一度覚えたものを忘れずにいられるかということを見ます。

### ② 様様の結果

一般的記憶・・・「平均よりも上」	}	言語性記憶・・・「平均よりも上」
		視覚性記憶・・・「平均よりも上」
注意/集中力・・・「平均よりも上」		
遅延再生・・・「平均よりも上」		* 平均は 90～109

そこで、様個人のなかでの得意・不得意を見てみました。

#### 様が得意だった課題

- ・ 物語の内容を覚える課題
- ・ 2つの言葉の対を覚える課題
- ・ 図形の模様を覚える課題
- ・ 図形と色の対を覚える課題
- ・ 十分に学習していることについて指示に従う課題
- ・ 検査者が言った数字を繰り返して言う、あるいは逆から言う課題
- ・ 検査者が触れた四角に同じ順序あるいは逆順序で触れる課題

### 言語性記憶と視覚性記憶

■■■様は、同年代平均以上の記憶力をお持ちで、特に聴覚的に得た情報の記憶力である「言語性記憶」の課題を得意とされておりました。

「言語性記憶」については、物語を覚える課題と2つの言葉の対を覚える課題を得意とされておりました。耳で聞いた情報を覚える能力は十分にお持ちでした。

「視覚性記憶」については、図形の模様を覚える課題と図形と色の対を覚える課題を得意とされておりました。目で見えた情報を記憶する能力は十分にお持ちでした。

記憶する際の集中力をみる「注意・集中力」については、同年代以上の能力をお持ちでした。順唱(8桁)、逆唱(7桁)と良くできており、特に順唱は満点でした、また、検査者が触れた四角に逆順序に触れる課題も得意とされておりました。■■■様のなかで比較すると、耳から得た情報を記憶するほうが、目から得た情報を記憶するよりも得意であるようでした。

覚えたことを30分後に思い出していただく「遅延再生」については、どの課題についてもよく記憶を保持することができていました。

## 前頭葉機能検査

### ①検査の概要

この検査ではパソコンを使ってカードの分類をしていただきました。分類の際、コンピュータがあらかじめ正解を決めていて、その答えを推測してカードを選んでいただく検査でした。正しい分類カテゴリー（色・形・数）を当てるためには、どのカテゴリーで正解したかを覚えておくことや、どの分類が正解かを推測すること、間違えたときには別の分類方法を試してみる必要があります。こういった働きは、脳の中の前頭葉という部分が担当するといわれています。この検査では、思考の柔軟性や、状況が変化したときにその変化に合わせてうまく適応できるかということを見ます。

評価項目とそれらの意味は以下の通りです。

一定の連続正答したカテゴリー数	数値が高いほど、思考の柔軟性が高いことを意味します。
全体の間違った数	数値が低いほど、思考の柔軟性が高いことを意味します。
間違ったときに、次もまた同じ回答をしてしまった数	数値が低いほど、変化に対する適応が良いことを意味します。
間違ったときに、分類をかえずにそれまで正答していた答えを選んでしまった数	

### ② ■■■様の結果

評価項目	結果	健常者における平均値(SD)*
		55歳未満
一定の連続正答したカテゴリー数	5	3.9 (2.0)
全体の間違った数	11	16.9 (7.8)
間違ったときに、次もまた同じ回答をしてしまった数	2	2.6 (3.8)
間違ったときに、分類をかえずにそれまで正答していた答えを選んでしまった数	2	3.6 (4.0)

\* 平均値±SDを平均域としています

#### コメント

■■■様は、コンピュータの分類法則を理解し、分類選択することができていらっしゃいました。また、分類を間違えた際は、切り替えて別の分類を選択することができていました。新しい場面において、柔軟に対応する力をお持ちであると考えられます。

## 性格検査

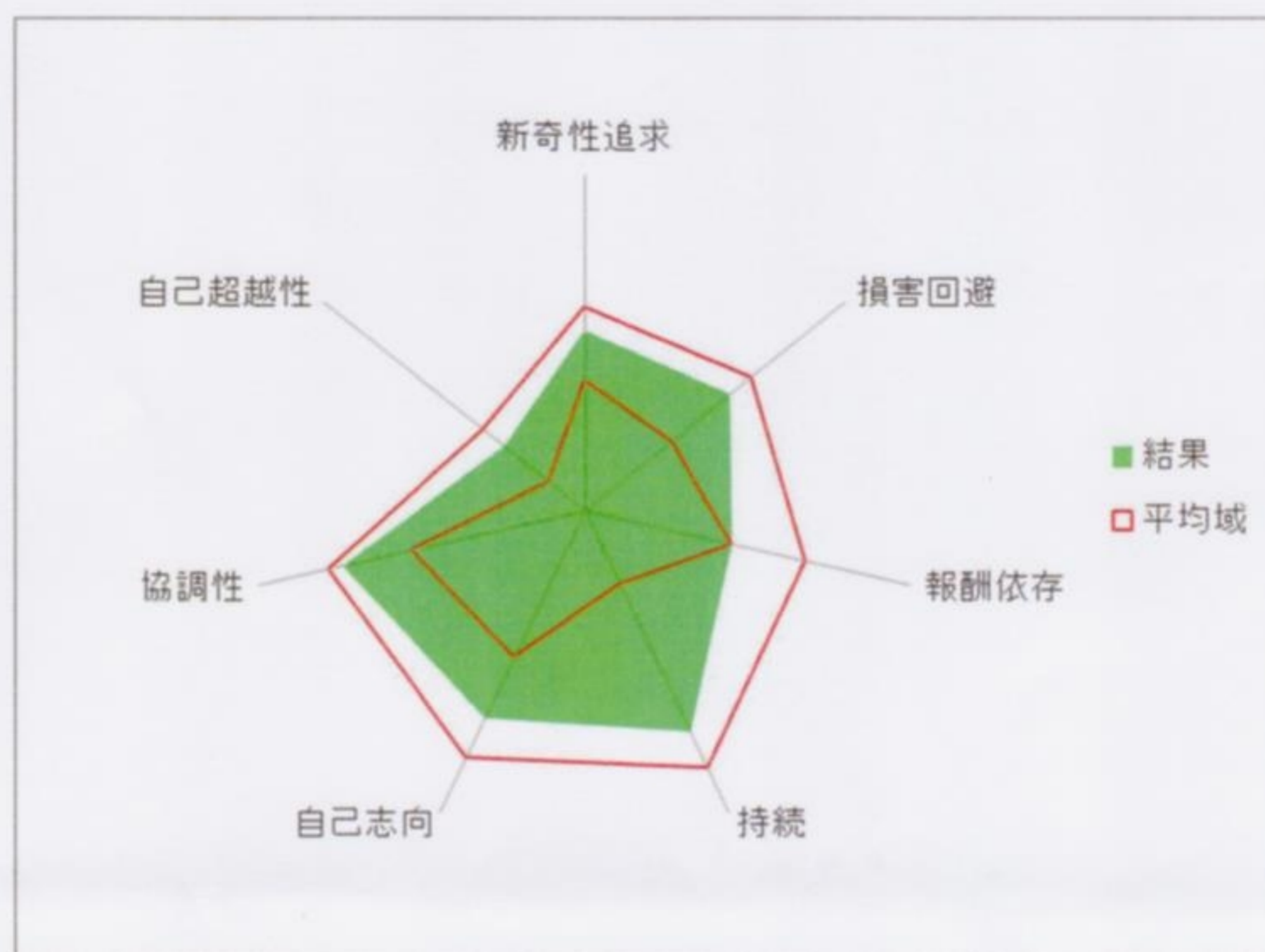
### ①検査の概要

家にお持ち帰りいただいてお答えいただいたアンケート方式の検査の一つです。この検査では、240項目というたくさんの質問に答えていただきました。この結果から、以下のパーソナリティの7つの側面を見ることができます。

新奇性追求	<p>目新しいものを追い求める傾向のことです。</p> <p>この傾向が高い人は、新しいもの好きで探究心がある反面、無駄使いをしたり短気であったりしがちです。</p> <p>この傾向が低い人は、控えめでよく考えて行動します。金銭も節約する方です。</p>
損害回避	<p>危険を避けようとする傾向のことです。</p> <p>この傾向が高い人は、慎重で恥ずかしがり屋です。心配しがちで物事を悪い方に考えがちです。</p> <p>この傾向が低い人は、大胆で全ての事態を良い方に考える傾向が強く、社交的です。</p>
報酬依存	<p>対人関係で得られる励ましで元気づけられる傾向のことです。</p> <p>この傾向が高い人は、感傷的な傾向があり、暖かく思いやりがあります。対人関係で得られる励ましで元気づけられるタイプです。</p> <p>この傾向が低い人は、クールで周囲に感わされず、我が道をゆくタイプです。</p>
持続	<p>ある物事や行動を継続して行う傾向のことです。</p> <p>この傾向が高い人は、勤勉で野心的な完全主義者で、その反面融通がきかないと思われがちです。</p> <p>この傾向が低い人は、マイペースでのんびりしています。物事の価値を、生活上の実益があるかどうかで判断するタイプです。</p>
自己志向	<p>あなたの自立性です。</p> <p>この得点が高い人は、責任感が強く、目的に応じて臨機応変に行動する方です。</p> <p>この得点が高い人は、ややもすると受け身で他人の力を当てにしがちな所があります。</p>
協調性	<p>あなたの社会性です。</p> <p>この得点が高い人は、優しく同情心に富み、集団の中での協力を惜しまない方です。</p> <p>この得点が高い人はやや他人に厳しい面があり、あまり協力的ではありません。</p>
自己超越性	<p>すべてのものがひとつの全体の一部であるとする意識がどれくらいあるかという傾向のことです。</p> <p>この傾向が高い人は、想像力が豊かです。現実から離れて物事を抽象的に考える傾向があります。</p> <p>この傾向が低い人は、物事を合理的、現実的にとらえる方です。</p>

② ■■■様の結果

項目	得点	傾向
新奇性追求	22	中くらい
損害回避	20	中くらい
報酬依存	12	低い
持続	6	中くらい
自己志向	31	中くらい
協調性	32	中くらい
自己超越性	11	中くらい





## コーピング(ストレス状況対処法)検査

### ①検査の概要

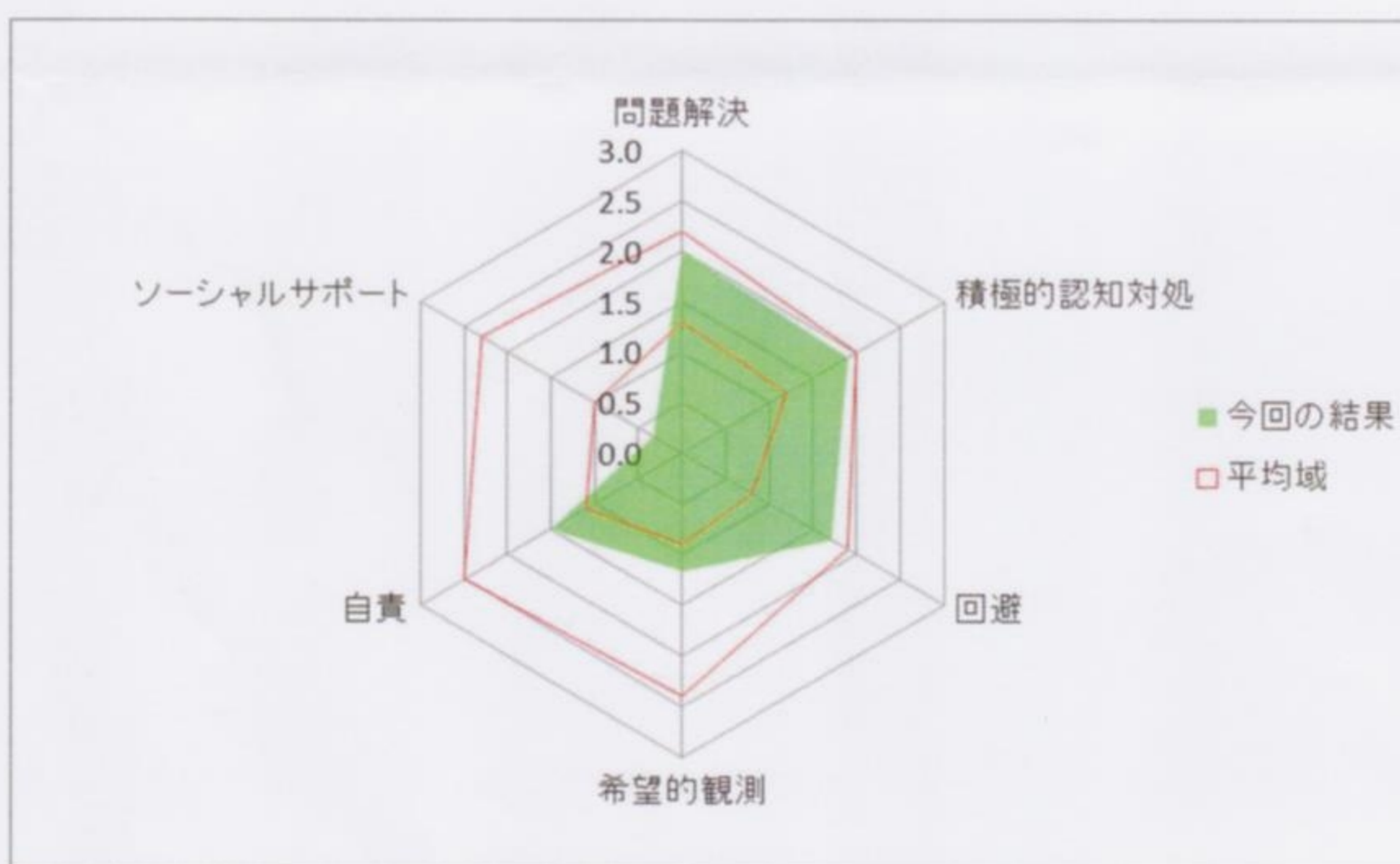
家にお持ち帰りいただいておりますアンケート方式の検査の一つです。この検査では、ストレス状況に対してどのように対処する傾向があるかを知ることができます。ここでは、以下の6つの対処法についてみています。

積極的 対処法	問題解決	問題状況を解決のために分析し、状況を変化させるための行動を実行する対処法です。
	積極的認知対処	事態の明るい面や自己の成長に役立つ側面を見つけ、考え方を 変えることにより問題解決のために心を落ち着ける対処法です。
	ソーシャルサポート	人からの情報提供を求める努力、実際に何らかの援助を求める行 動、人に共感や理解を求めることによる対処法です。
消極的 対処法	自責	自分に非があると考える傾向です。
	希望的観測	非現実的なことを望む傾向です。
	回避	問題状況を直視せずに逃げてしまう思考や行動をとる傾向です。

一般に、最初の3つは、積極的対処法と呼ばれており、効果的なストレス対処法と考えられています。一方、後の3つは、消極的対処法と呼ばれており、根本的な問題解決にはつながらないため、多用するとかえってストレス反応を高める結果になりかねないと考えられています。

② ■■■様の結果

項目	評価点	傾向
問題解決	2.0	中くらい
積極的認知対処	1.9	中くらい
ソーシャルサポート	0.3	低い
自責	1.5	中くらい
希望的観測	1.2	中くらい
回避	1.7	中くらい



※他に受けていただいたアンケート方式の検査について

最近1週間のストレスチェック検査■■■■は、別紙にて結果をお返ししております。

その他の検査に関しては現在研究中であり、結果について解釈することができないため、皆様に結果をお出ししておりません。申し訳ございませんが、よろしくご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

また、栄養調査などで受けていただいたアンケート調査の結果に関しては、それぞれの検査の担当者から結果をお返しさせていただいております。

以上です。